



第7号

鶴見民児協だより

平成30年4月発行 鶴見区民生委員児童委員協議会 会長 神保 修治 鶴見区鶴見中央3-20-1 ☎045-510-1791

ご存じですか？

民生委員・児童委員、主任児童委員

地域福祉の
ボランティア

ボランティアにもいろいろあるけど...

地域と
関係機関の
つなぎ役

つなぐってどういうこと？

詳しくは
次のページにGO!!

身近な
見守り役

見守るってどういうこと？

何の木？

ちい“き”だよ！

♪

民児協とは？

“**民生委員児童委員協議会**”
の略で、民生委員・児童委員、
主任児童委員の
活動を推進するための
団体です。

お問い合わせは

鶴見区役所 福祉保健課 運営企画係 電話：510-1791 FAX：510-1792

こんにちは！民生委員・児童委員、主任児童委員です

地域福祉を担うボランティア

民生委員・児童委員、主任児童委員は、皆さんの暮らす地域から推薦され、住民の立場に立って、さまざまな福祉活動を行う“ボランティア”です。

地域から
推薦されてるのね！



解説

民生委員・児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤特別職の地方公務員で、任期は3年です。報酬はなく、ボランティアとして活動しています。また、全ての民生委員は児童委員を兼ねています。

地域の身近な相談役として、介護や子育ての悩み、経済的な心配事など、福祉に関するさまざまな相談に応じ、必要な福祉サービスが受けられるようにする、専門機関とのつなぎ役です。現在、鶴見区では301人の民生委員・児童委員が活動しています。

関係機関へのつなぎ役

民生委員・児童委員、主任児童委員は、地域の皆さんの福祉に関する心配事や困り事を一緒に考え、例えば区役所や地域ケアプラザなど、その方にとって必要な機関へつなげます。



困ったときに
必要なところへ
つないで
くれるんだね！

身近な見守り役

民生委員・児童委員、主任児童委員は、支援が必要な方が地域で安心して暮らせるよう、支援が必要な方を把握し、見守りや訪問を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

ボクたちのことも
見守ってくれているのかな？



解説

主任児童委員

こどもや子育てを専門に担当する民生委員・児童委員です。民生委員・児童委員、学校、児童相談所などの関係機関と連携・協力して、こどもに関する相談対応、子育てグループの応援などを行っています。現在、鶴見区では34人の主任児童委員が活動しています。

※民生委員・児童委員、主任児童委員は、法律により守秘義務があり、相談内容など個人の秘密は守られます。

地区紹介

鶴見区民生委員児童委員協議会(区民児協)は、17の地区民生委員児童委員協議会(地区民児協)から構成されています。第7号では、矢向、鶴見中央、潮田中央、潮田東部、生麦第二、駒岡の6地区をご紹介します。

矢向地区(矢向・江ヶ崎地区)

—支え合う・助け合うまちを目指して—

矢向地区内の江ヶ崎町では、平成13年度から、地震などの災害発生時に、自力避難が困難な高齢者や障害者などの要援護者の安否確認や避難支援などが迅速に行えるよう、要援護者の皆さんに町の防災名簿への登録を推進しており、現在200名を超える方が登録されています。

そしてこの防災名簿の有効活用を図るため、平成24年3月に区役所の指導を得て、独自に「個人情報取扱規定」を制定し、登録者の同意を得ることを前提として、民生委員・児童委員を含めた一定の範囲まで名簿の開示を可能とし、登録要援護者の普段からの見守りと、万が一の場合の対応が迅速に行えるように体制を整えています。

さらに、防災拠点の組織とは別にボランティアとして「救援協力者」への登録の呼びかけを行い、現在約90名が登録しています。災害時、この救援協力者も別働隊として活動する体制を取っています。

また毎年9月に実施する「町の総合防災訓練」では、この体制に地元中学生の協力も得て要援護者の安否確認と避難支援の実践訓練を実施し、万々に備えています。



鶴見中央地区

—10年続けてきた配食サービス—

鶴見中央地区はマンションが非常に多い都市型の町で、住民同士の絆も薄く、なかなか助け合い・支え合いが出来にくい地域です。そこで10年前、鶴見中央地域ケアプラザが出来た年から、一人暮らしの高齢者の方や、高齢世帯を対象に配食サービスを始めました。食事は夕食で、調理はボランティアさんをお願いし、配達は民生委員・児童委員が担当しています。

最近では、元気な方は自分で運動もかねて、なるべく取りに来て頂くようにしています。今では、早めに来て皆さんと雑談をするなど、小さなコミュニティーのような形にもなっています。また民生委員・児童委員にとっては定期訪問の一環にもなり、対象者との信頼関係構築にも役立っています。

地区の民生委員・児童委員活動での悩みは、多くのマンションがオートロックになっているため、定期訪問が非常にしづらいこと。例えば玄関でチャイムを押して応答がない場合、留守なのか病気なのか等の判断が付きません。そんな場合は電話等で確認したりと、訪問にはかなり手間がかかっています。



福祉のお困りごとは「地域包括支援センター(地域ケアプラザ)」へ

区内に9ヶ所開設している地域ケアプラザには「地域包括支援センター」という部門があり、介護保険をはじめとした医療や福祉等、さまざまなサービスの情報提供を行っています。保健師又は看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門のスタッフを配置し、高齢者の生活全般の相談受付や、成年後見制度、高齢者虐待の防止、悪質な訪問販売等による被害の防止、介護予防教室の開催、要支援1・2の方の介護予防ケアプランの作成、関係機関や地域との連携などを行っています。相談無料。お気軽にご相談を。

地区紹介

潮田中央地区

—「暮らしやすいまち」を目指して—

潮田中央地区は3町会で構成されています。中心部の潮田公園は、野球場、プール、テニスコート、コミュニティハウスや図書館などがあり、老若男女の憩いの場となっています。地域での行事も多く、潮田神社例大祭をはじめ、納涼祭、茶話会などの敬老行事、餅つき大会、防災・防犯事業などの各町会の活動も活発です。このような行事を通し、住民同士のつながりの深い地域です。

潮田中央地区民児協は、地区連合、地区社協の支援を受け、ふれあいの場「ひだまり」を立ち上げて早や10余年になりました。折り紙をはじめ、小物作りや七夕飾りなど四季に合わせて内容を考え、時には保健活動推進員と合同開催の「ロコモ教室」など、参加者の皆さんに楽しいひとときを過ごしていただいています。今後は、さらに関係機関との連携を密接にして、介護予防の観点からも高齢者のつながりや地域行事に参画していきたいと考えています。



▶ 90歳代の参加者様からいただきました

「ひだまりに

杖つき合つて

* 手きつなぎ

火曜の集い 友と楽しく

* 「ひだまり」は

その名のように暖かく

潮田東部地区

—高齢者と児童に優しいまちづくり—

潮田東部地区民児協は鶴見区で最も多い14町会からなり、民生委員・児童委員17名、主任児童委員2名の合計19名で地域の活動をしています。主な活動としては、区役所や地域包括支援センターとの連携、市・区社会福祉協議会への協力や研修会・講演会への積極的な参加、75歳以上ひとり暮らし高齢者等の生活環境把握と訪問・見守り活動の推進、災害時要援護者支援事業への協力など、さまざまな活動をしています。

潮田東部地区全体では、「助け合いのまちづくり」の取組として、緊急時に家族や知人と迅速に連絡を取れるようにするための「緊急連絡カード」を作成、配付しました。入船小学校で行う敬老祝賀会では、毎年400名近くの高齢者が参加しています。高齢者と児童のふれあい給食会も、学校の協力を得て実施しています。親子の居場所「すくすく東部」にも、担い手として関わっています。

潮田東部地区民児協は、毎月の定例会を開催し、委員同士の情報交換や研修などを行い、地域福祉推進のため、これからも活動していきます。



3大フェスティバルでの民生委員・児童委員PR活動

三ツ池公園フェスティバル(5/20)、鶴見川サマーフェスティバル(8/19)で、民生委員・児童委員のPR活動を行いました(つるみ臨海フェスティバル(10/21)は荒天により開催中止)。

当日は多くの委員が、フェスティバルに来場された地域の皆さんに、鶴見区民児協の広報紙や啓発用ティッシュを配布しました。



地区紹介

生麦第二地区

—明るく前向きに—

生麦第二地区民児協は、総勢29名(民生委員・児童委員27名、主任児童委員2名)で構成されています。例会は毎月1回、岸谷会館で開催され、毎回ほぼ全委員が参加しています。

生麦第二地区には13町会あり、29年3月時点で約1万世帯、2万7千人が住んでいます。地区の特徴として、まず細長く広範囲に渡っていることが挙げられ、神奈川区の子安、西寺尾と接しています。また歴史的にも生麦と東寺尾の結びつきは古く、京急とJRの線路の東西に広がっているために、それぞれに生麦地域ケアプラザ、東寺尾地域ケアプラザがあることです。最近、マンションが増え、一人暮らし高齢者も増えています。高齢化率は20.8%で、5年前に比べて2%増加しています。

地区民児協としての毎年の行事は、1月の新年会と10月の研修会です。民生委員・児童委員は3年で一期のため、全委員を3グループに分け、毎年交代で新年会、研修会を担当します。特に3年目の最終年はバスでの旅行研修が行われます。その準備には毎月の例会後の時間が当てられ、新年会の進行をどうするか、研修会のテーマ、講師をどうするか、研修先は、など喧々ごうごうとにぎやかです。準備は大変ですが、委員同士が仲良くなれる機会でもあります。

地域のさまざまな問題に対して、明るく前向きに対処していけるよう、生麦第二地区民児協はこれからもチームワークを大切に頑張っていきます。



駒岡地区

—高齢者に対する民生委員・児童委員活動—

駒岡地区民児協は、3町会と1自治会の約6,900世帯の中で活動しています。昨年は9月に駒岡地区センターにて駒岡連合町会と地区民児協、地区社会福祉協議会との共催で駒岡連合敬老慰安会を実施し、約300人の高齢者の方の出席で盛大に執り行われました。

また、一人暮らしの高齢者との食事会、年間10回の地域ケアプラザでの昼食会など、地域の皆さんと会話をしながら楽しい時間を過ごしていただけるようにしています。

これからも、地域と密着した活動を目指して頑張っていきます。



駒岡地区・上末吉地区「収穫祭」(兜塚古墳跡)



昨年の収穫祭の様子

上末吉小学校に隣接する兜塚古墳跡は、自然に囲まれ、さまざまな野鳥の姿を見ることができ、長年に渡って近隣の人々から親しまれています。この兜塚の自然と生き物を守りながらより良い場所にするために、平成11年に地域交流の場「かぶと塚ふれあい樹林」が整備されました。以降、近隣の駒岡地区、上末吉地区が協力し、収穫祭や豚汁会の他、花の手入れや草刈りなどを行っています。自然や歴史と触れ合いたい時には是非足をお運びください。

民生委員制度 創設100周年行事の報告

昨年は「民生委員制度創設100周年」の年に当たり、鶴見区や横浜市、全国でも100周年記念の行事が行われました。



鶴見区記念行事(11月29日)

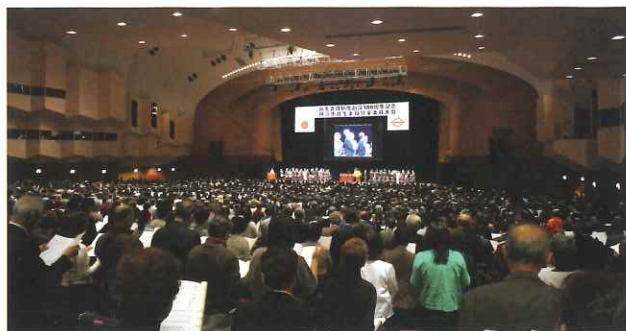
鶴見区民児協は「これまでも そして これからも」と題し、民生委員のこれまでの活動をたたえ、民生委員がこれからも元気に活動できるよう、鶴見公会堂ホールで記念行事を開催しました。

第一部では啓発ドラマ「認知症と向き合う」の上映、鶴見警察署による「嘘を見破れ一振り込め詐欺の被害に遭わないために」の講演、第二部では市の健康福祉局による「社会全体で紡ぐ地域包括ケアシステム」と題して第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についての区民説明会を行いました。民生委員・児童委員約250名と地域の方々約50名の、合わせて300名近い方々が参加しました。



横浜市大会(11月15日)

横浜市民児協は、パシフィコ横浜で100周年の記念大会を開催しました。当日は約3,700名の民生委員・児童委員を含め、4,000人を超える参加者が集まりました。会では市長特別顕彰や市民児協特別表彰、記念講演などが行われました。



全国大会(7月9日・10日)

7月に東京ビッグサイトで開催された全国民生委員児童委員大会では、全国各地から1万人もの民生委員・児童委員が一堂に会しました。

1日目は、天皇后陛下のご臨席を賜り、厚生労働大臣特別表彰、全民児連会長表彰、記念講演が行われました。2日目は、6つのテーマに分かれて研修を行いました。



編集後記

「鶴見民児協だより」第7号をお届けします。この広報紙は、民生委員・児童委員、主任児童委員について地域の皆さんに知っていただくために、年に1度のペースで発行しています。

少しでも、民生委員・児童委員、主任児童委員の果たす役割や活動を知っていただけたら幸いです。

(小林政晴)

● 広報・研修部会員

小林政晴(部会長)・渡邊薫子(矢向)・永井恒雄(市場)
森田美佐子(市場第二)・松村まさみ(鶴見中央)
太田則子(潮田中央)・小西賀子(潮田東部)
宇田芙美子(潮見橋)・宮野正司(潮田西部)・木村節子(小野町)
佐々木和子(生麦第一)・山田三夫(生麦第二)・橋爪志江(豊岡)
上原貴美子(寺尾)・中島和代(寺尾第二)・横須賀治夫(駒岡)
小宮山真理子(上末吉)・星範雄(下末吉)